

刊夕日五月九

常磐每日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五號十二字 第一行 金五拾銭
 日曜祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

馬事雑感

T K 生

そこで今度は馬術競技といふものに就て少しお話ししなければなりません。馬術といふものゝ歴史は本邦にあつても亦諸外國に在つても極めて古いもので、之が立派な武術の一つに教へられて居ります。古來幾多のうまに關する話が今日迄傳へられて居るやうに日本に於ても昔は相當に馬術は盛んで大いに其の技を競つたものでした。外國に於ても中世紀の騎士時代には全く武道の華と稱せられ、美望の的になつてゐました。美しい甲冑を身につけた騎士が逞しい馬に跨り帝王の

ノート

現在日本 全國で使 用される

石鹼代は約五千萬圓、此内五分の一は無駄な泡となつて消されて居る由

御前に演技する光景などはよく繪なり或は寫真に見受ける所で何と云つても華々しいもので、當時はつまりスポーツの第一位を占めて居たものです。従つて一般の民衆も馬に對しては或る種の敬意と大なる親しみを

持つて居ました。歴史は今日に續いて歐洲諸國に於ては一般に今尚此の觀念が去らないのであります。私が數年前歐洲に旅行しました時は丁度馬術競技のシーズンでして歐洲各國の主要な都市では次から次へと國際大競技會が催され各國からは何れも選り抜きの名馬並に名騎手を派遣して火花の散るやうな接戦を演じて居

明日の献立

- 【朝】 味噌汁——豆腐 小付 佃牛蒡の辛煮
- 【晝】 あらめ煮菜 五目豆
- 【晚】 親子丼 清汁 茄子

を恰も平地を駆けるが如くに通過して嵐の如き拍手を浴せる場面等展開され、全く興奮感激其のものであります。馬術では世界的に有名である伊太利の如きもロームに於ける毎年一回のムツソリー首相金杯競技に於て、永年自分の庭先で獨占して居た其の金カップを三年前より新進獨逸國チームに奪はれ、今年遂に三年連續して獨逸國の勝となり永遠に其のものとなつてしまつた。などは全世界の馬術界をして驚異の目を見開らかせるものです。

俳句

岡村月路女

ました。殊に競技中ブロードウナシオンと名のつく大障礙競技には必ず皇帝(或は大統領)始め皇族首相などの貴賓を網羅し、又國を代表する現役の騎兵士官は各々四名のチームを編成し、先づ壯麗なる入場式から始まり各國の國旗掲揚式皇帝への拜謁などあつて、それから順々に一名宛出場して難コースを突破して行く譯です。落馬するもの馬諸共顛倒するものなど續出し満場の觀衆をして眞に手に汗を握らせるかと思へば名馬一鞭さしもの難障礙の數々

魚一つ銀色に飛ぶ夏の月
 夏の旅水を離れて山に入る
 病患の車急ぐや稲光り
 戸を開けば鶏列びいつ五
 月晴
 柿下げて汽車に乗る子や
 山の驛
 銀杏の落ち葉地蔵を埋め
 にけり
 とろ／＼と茶の煮えて爐
 邊の葉仕事
 よしきりや櫓の音さしむ
 秋の夕
 呼應するこだまに秋の山
 晴るゝ

外科

門 專 科 線 光 X

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

専門優良車

乗心地の超特快適な三四年型
 デラックスセダン着

何卒御用命願ひます

鈴木自動車部

平町(電二一七番)

有給事務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名
 一、固定給の外旅費支給す
 御希望の方は履歴書持參來談を乞ふ
 (明治十四年創立)
 (保險の開祖)

明治生命保險株式會社

平事務所

平・仲町

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

非常時局大講演會

主催 東京明倫會
 日時 九月七日午後七時
 場所 平町聚樂館 料無場入

演 皇國の危機に直面して
 陸軍少將 工藤 豪吉
 軍縮問題の裏面
 陸軍大佐 橋本 才輔

産婦人科 院長 木村寅次郎
 外科 醫學博士 内木宗八
 藥局 藥劑師 立番彌一

木村病院

入院隨意 病室完備
 平町新川町十九
 電話六四番

電話六四〇番

皆様のタクシーへ

此度は見るからに乘心地よい色彩のニ—アクション式新車が入車致しました。自動車の御用命はチリンチリン六四〇番を御呼び下さる皆様を新車と共に従業員一同御待ち申して居ります。新車も揃ひましたから遠乗の御用には特に御相談に應じます。

尼子タクシー

電話六四〇番

流行曲

仲々子供は知つて居る

蓄音機の影響か

平第一校が尋六を調査

平第一小學校では尋常科六年生二百餘名の家庭や環境を調査する爲め今流行の歌謡曲や學校で教へぬ歌の中て生徒自身の知つて居る數を調査した處

一つ六十六名、二つ三十四名、三つ二十九名、四つ十八名、五つ三十七名、六つ以上十六名

等で最も多く知られてゐるのが荒城の月 野球應援歌 波浮港 東京音頭 櫻音頭 東京行進曲 アラビヤの唄 等他の俗謡や流行歌にも仲々通じて居りこれは多く蓄音機のレコードの影響を

石城小川江水利組合に於る九年度各町村の賦課人員二千八百四十名、反別合計一千二百四十一町七段四畝二十五歩でこの賦課總額八千五百八圓二十八錢と決定したが昨年と比較すると四町五反七畝を減じた、これは夏井仁井田雨河川改修により潰地と匡救事業の道路網の發展による爲めであると

小川江賦課

前年より減少

悪天候が...

大敷網に祟る

何れも意外の欠損

有望視されてゐる小名濱大敷網の今年度成績は天候寒冷による潮流の關係から漁獲盛期である六月から八月にかけての

漁獲不振を極め僅かに九月の秋賦に希望を抱いてゐるが現在もなほ低産と

して潮流に變化なく天候恢復も覺えないといふので茨城縣の高橋亘氏經營になる九大組では

遂に見切をつけ今月未までの漁獲權を放棄して昨四日打切つたが同組の今年度収入は九萬七千圓で最

初の豫定である十二萬圓には二萬三千圓の距りがあり尙ほ同氏兼營の

平潟組も豫定収入の半額といふ悲惨な状態で小規模な小名濱多田組も欠損を免がれぬものと豫想されてゐるが郡内隨一の豊間村大敷網も

亦一萬圓以上の損失に上るであらうといはれ悪天候の前に完全に屈服され了つた

第二校職員會

平第二小學校では本日午後二時より職員會を開き今月の行事に就いて打合せた

舗装道路の上に

油を流すのは絶対禁物

直ぐ破損する

大平町多年の待望であつた國道舗装は既に四丁目より二丁目まで竣工を済ませ、遅くも今日末までには一丁目をも完工する豫定である

がこの舗装アスファルト乳劑は一般の油類に對しては抵抗力極めて弱く油類を流した儘に放置すると破損の恐れがあるので平町では平土木監督所よりの通牒により舗道區域住民に左の如き嚴重な注意書を發することになつた

一、路面に於て自動車修繕等を爲さざること
二、路面に於て油類を取扱はざること
三、若し油類を漏洩せる場合は速く洗滌すること

郡下青訓

執行官決定

既報來春の一月十三日小川青年訓練所を始め約一ヶ月間に亘り執行される郡下各青年訓練所の査閲は執行官が福島縣隊司令部附陸軍歩兵中佐佐川靜三郎氏と決定した

兒童競技打合

既報來十月十四日磐中グラウンドに於て開催される石城郡第三區(平町外十五校)兒童競技會の委員會は來る八日午前九時より平第一校會議室に於て開く由

夏休中の成績展

第二校の賞状

夏休み中の生徒に植物、動物、礦物及び織物の標本作製並に成績品、夏季練習帳の宿題を課した平第二校では去る三日より夏季休業兒童生活展覽會を講堂に開催本日優秀品に對し各賞状を授與したが入賞兒童は一年三十九名、二年三十八名、三年三十九名、四年三十六名、五年四十七名、六年三十九名、高一三十八名、高二二十六名、計三百二名である

飯野村の更生計劃

一戸一人の強制出席で

飯野村は愈よ計劃實施に邁進すべく來る九日から十二日まで四日間亘り左記日割により部落民大會を開き必ず一戸一人以上の出席を求め村民と當局の意見交換によつて更生計劃の趣

四倉商況

昨日上向く

昨日の四倉商市場は初秋蠶もそろそろ最盛期を過ぎ出て廻り薄となつた結果總量一十五貫九百匁に減少

相場は最高十七圓七十錢、最低十三圓、馴十六圓五十錢にて出荷薄が影響し前日の平均相場より一圓十錢高値を見せた

分團野球

申込十組

既報來る九日及び二十三日の二回に亘り第一校と平商で開催される平青年團主催各分團對抗式野球大會の出場申込みは本日の締切り迄に昨年優勝の三丁目を始め一丁目 五丁目 南町 材木町 胡摩澤 杉平の聯合軍 城山 長橋 十六區 紺屋町の十チームで此外出場確実の分團四、五あり結局十五チームが優勝旗を巡つて大接戦を展開する模様である、因に組合せは來る七日午後七時よりマルトモホールでキャプテン會議を開き決定すると

陸上運動會

平町各小學校では運動シーズンを迎へ左記の如く各校庭に秋季陸上運動會が催されると

△十月三日第二校△同五日第一校△同七日第三校

木村科醫院

平町六丁目橋際

電話三〇九番

平町人事

△一丁目一 森下民藏氏
△二男健次郎さん
△南町一五 鹽源六郎氏二男二郎さん

大浦論功行賞

大浦村では左記七氏に對する滿洲事變の論功行賞の傳達式をこの程村役場で舉行した(勳八等白色桐葉章)歩一 澁谷鐵次郎、同古市久太郎、歩上根本三右衛門、歩一箱崎義綱、砲上坂本一雄、砲伍鈴木三郎勳(八等瑞寶章)工上赤塚久平

平町去月統計

平郵便局管内で去月中に賣捌いた郵便切手、印紙數は總額三萬九千五百四十六錢で昨年度の三萬二千四百廿圓六十三六錢より千三百九十四圓七十三錢の増加を見たが尙同局の去月中の市外通話料は二千五百四圓八十三錢、電報料は七百八圓

出生

△八幡小路七五 佐藤武三女小花さん
△立町一 小池一郎氏長男博明さん
△死 亡
△鎌田町二九 高岡ナミさん(七二)
△月見町五六 常右衛門氏三女シヅ子(一ツ)

薬價二圓の

請求訴訟

訴訟費用の方が 請求額より多い

双葉郡廣野村醫師野村智選氏は此程同村橋本孝三郎が今より二年前風邪に罹つた際二回程往診した外數回に亘り投薬したが今もつて薬價二圓を支拂はないと此程平區裁判所に右の請求訴訟を起したが此訴訟費用は日當、旅費、印紙代等合計二圓七十二錢を要し請求高より多くかつて居る

小名濱に 請願巡査

設置方申請

小名濱港は近年築港の完備により他縣よりの漁船の出入が輻輳するため海上の事件多くまた漁夫らの犯罪も

監督の不注意が 弟を殺したとて

平檢事局に過失致死の告訴

勿來町大字酒井字出藏大日本炭礦勿來坑電工大友三郎(三)は去る一月二十九日同字地内に於て變壓器増設の工事中監督の岡部庄松が不覺にも三郎の危険箇所にあるのを忘れスヰツチを入れさせた爲め感電即死したとて實兄二郎氏は此程前記岡

傷感の秋 出家てれば誘

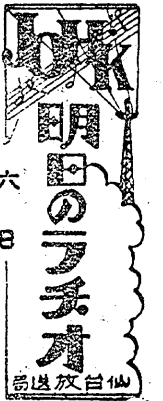
双葉郡木戸村大字小瑞字小川猪狩正人の内縁の妻遠藤貞子(三)は三日午後七時

松ヶ岡公園下で 少年自殺を圖る

進中の列車目かけて 主家の金を横領

踏切小父さん キングが表彰

今曉午前五時半頃平機關庫の鶴沼西義君が運轉する湯本發仙臺行下り二百一十一旅客列車が松ヶ岡公園附近に差懸つた際百米の前方を徘徊する少年を發見危険信號を發した處少年は突然線路に飛込んで自殺せんとしたので急停車を行ひ少年の一間手前で難を避けたが此爲め平署員に引渡した同少年は好間村字今新田五二生れ當時叔父に當る横濱市鶴見町生麥四十四山助治方西山慶治(三)假名にて去月中西山方の金百圓を横領費消した事がバレて郷里に歸されたが實家にも居た、まれず自殺を圖つたものであると



明日のラジオ
今晩も明日も北東の風曇小雨模様

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
少年物語 周藤彌兵衛の一念 大崎ふみ子
後六、二五 趣味講演「短冊の話」森繁夫
後七、三〇 講演 永井柳

進學模試試験 平第一小學校は本日午後一時半より年度中今等學校入學志

夕食後の談笑中に
突然發狂暴れ出す
高久村神谷作農市松次男鈴木辰平(三)は昨四日午後六時頃夕食を済して家族と談笑中突然暴れ出し爐端にあつた錐を振りかざしなだめんとする實母みの(三)及び實兄一平(三)の兩腕に突き刺し全治一週間の傷害を與へなを暴れ狂ふを附近の助手で取捕へ平署に留置し同人は最近精神に異狀を呈し鑑視中のものであつた

内臓器官が
人と反対
平町八人居住磐城中學校一年生青木富夫君(三)假名は去る三日

明日の部
前六、三〇 處世講話 嘉悦孝子
前七、〇〇 聖典講義 歎異鈔講本(四)梅原眞隆
前八、〇〇 俳句の手ほどき(四)高濱虚子
前九、一〇 料理献立 朴澤松操女學校
後〇、〇五 琵琶 栗津の露鶴田旭窓
後六、〇〇 子供の時間
願者に對し算術、國語、雜問等の模擬試験を行つた

ス 氣象通報 曇見告
明日の部
前六、三〇 處世講話 嘉悦孝子
前七、〇〇 聖典講義 歎異鈔講本(四)梅原眞隆
前八、〇〇 俳句の手ほどき(四)高濱虚子
前九、一〇 料理献立 朴澤松操女學校
後〇、〇五 琵琶 栗津の露鶴田旭窓
後六、〇〇 子供の時間
願者に對し算術、國語、雜問等の模擬試験を行つた

第三校に寄附
平町新川町藁谷喜多郎氏は本日第三小學校衛生備品として藥品戸棚、醫療機械入戸棚及びテーブル一ヶ等を寄附した

平窪青訓演習
平窪青年訓練所生約五十名は來る八、九兩日草野村新舞子方面で發火演習を行ふ

回人を求める方
△土工夫 三十九才 高卒
△炊事婦 四十三才 尋三修

回職を求める方
△土工夫 三十九才 高卒
△炊事婦 四十三才 尋三修

美味! 芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番

